

25 号

◆ご案内

勉強会 「岡崎にホスピス緩和ケア病棟を」 (キワニスクラブ社会公益賞受賞記念行事)

35万人が住むこの岡崎にはまだ「ホスピス緩和ケア病棟」がありません。

展示や講演を通し市民と医療者が話し合いながら、ホスピス緩和ケアについての情報を提供し理解を深め、その実現に向けて輪を広げていきましょう。お友達にも声をかけていただき是非ご参加ください。

日時：7月2日（金）11時～17時 3日（土）10時～17時

場所：イオン岡崎ショッピングセンター 橋詰・小野（なんば）

参加費：無料

内容 ①展示

②相談コーナー

③ホスピス病室の体験

④講演と話し合い

2日（金）午後2時～午後4時

「緩和ケア病棟のの違い」

講演 ・有吉寛愛知病院名誉院長

出席者 ・ホスピスで終末期を過ごした患者の家族

3日（土）午後2時～午後4時 「なぜホスピス緩和ケア病棟が必要か」

ーそれぞれの立場からー

講演 ・内田達男愛知病院外科部長

出席者 ・小出義信先生（開業医）

・橋本美恵子七栗サナトリウム 元ホスピス看護師長

・柴田睦 岡崎市民病院ソーシャルワーカー



9月17日（金）10時～12時 愛知病院

「私が欲しい緩和ケア病棟」愛知病院 看護師さん

手縫い（毎月第2火曜日）場所 県立愛知病院機能訓練室

7月13日（火）10時～12時 9月14日（火）10時～12時

つどい（毎月第2木曜日）場所 アイプラザ岡崎勤福社会館

7月8日（木）10時～12時 9月9日（木）10時～12時

◆報告

“手縫い”の報告

愛知病院・市民病院・国際病院などに
毎月雑巾などをお届けしています。

病院に差し上げるぞうきんを縫い始めて7年、ぞうきんと
随時依頼される小物類（湯たんぽカバー、氷のう入れ、車椅子
用カルテ袋など）を作っています。手で物を作る、縫うと
いう作業は世の中のスピードから考えると、かなりゆっくり
したい時間になります。

月1回こんな時をご一緒しませんか？

（小野）

“つどい”の報告

我が家には今、癌で入院している家族がいます。長丁場
になると病院通いにも疲れが出てきます。かつてつどいに参加
された方が「どんな状態であれ、親は存在するだけでバラン
スが取れているのです。」と言われたことばを思い出し、家
族全員で協力しながら、いつまでもバランスが取れた状態
であることを願い今日も病院に行ってきます。（難波）

こぼればなし

「K先生のお陰でいい臨終を迎えられて嬉しかった」奥
さんはみんなにそう話していました。その後、ホスピス
をテーマにした開業医の先生方の勉強会に呼んでいた
だった時「何人看取っても、本当にあれで良かったのか
と、いつも不安です」と意外な言葉をK先生から聞きま
した。この話をご家族にしたら「法要のときに先生
を呼びたい」と言われました。

K先生が終末期を迎えた家族に心がけていることは
「①これから起きることを話す ②その時どうするか
を説明する」。そんな先生に、「あれで良かった」と
思っていたんだけど思わずにはいられません。
良い医療を受けるには不安や不満と同時に、喜びも直接
伝えることだと気づいたできごとでした。（橋詰）

◆運営委員会からのお願い 2004年度の会費がまだの方は納入をお願いします。

◆ご寄付ありがとうございました 中林良夫様 柴田貞子様 近藤英子様 小野裕子様